

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書					
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議			文書番号	上富子育 第 332 号
				決裁期日	令和元年 6 月 20 日
名 称	令和元年度 第 2 回子ども・子育て会議				
日 時	令和元年 6 月 19 日 (水) 13 : 30 ~ 15 : 30				
場 所	保健福祉総合センター 2 階研修室				
出 席 者	子ども・子育て会議委員 15 名うち松下、及川、大道、高木委員欠席 (別紙名簿参照) 保健福祉課 鈴木課長、健康推進班 星野主幹、子育て支援班 吉河主幹、白井主査、坂本主査、大井主事、本間主事				
内 容	<p>・ 開会 吉河主幹挨拶</p> <p>本日の議題は、第 2 期の子ども・子育て支援事業計画のたたき台を各委員の皆様 に審議して頂く。審議については、各委員の皆様から意見を頂けるように後程、事 務局から説明するが、子育て支援事業や貧困計画に関する部分をグループワークに より、意見集約したいと考えている。よろしくお願ひしたい。</p> <p>以降、議事については、山本委員長の進行で進める。</p> <p>1 委員長挨拶 上富良野町の行動計画、支援事業計画が良いものになるように、本日はよろしく お願ひしたい。</p> <p>2 議題</p> <p>【委員長】 議題 (1) 「第 2 期子ども・子育て支援事業計画の素案について」事務局より説明願 ひます。</p> <p>【事務局】 議題 (1) について事前配布している、資料 1 「第 2 期子ども・子育て支援事業計 画の素案について」に基づき、各章ごとに審議をお願ひしたい。</p> <p>【事務局】 資料 1 P1~5 「第 1 章 計画の策定にあたって」について説明。</p>				

【委員長】

第1章の説明について質疑ありませんか。

【委員】

ありません。

【事務局】

資料1 P6～8「第2章 目指す子育て環境」について説明。

【委員長】

第2章の説明について質疑ありませんか。

【委員】

ありません。

【事務局】

資料1 P9～10「第3章 基本目標と実現のためにできること」について説明。

【委員長】

第3章の説明について質疑ありませんか。

【委員】

ありません。

【事務局】

第4章、第5章については別紙名簿に記載の通り2グループに分かれて、各項目毎に意見を頂く。

以下、各委員より頂いた意見

第4章 計画の基本事項

資料1 P13～19「2 地域子ども・子育て支援事業の提供体制」

(1) 利用者支援に関する事業

- ・上富良野町は転入者が多いため、転入者など周りに友達が少ない方に対しての情報周知が必要。
- ・転入・転出による、自治体間の連携がより必要と考えられるので、他市町村との連携も計画書にきちんと記載したほうが良い。
- ・小学生以上の児童がいる家庭と町が直接関わる機会が少ないので、どうにか繋げてもらいたい。

(2) 時間外保育事業

- ・同じ方が月に複数回利用することが多い。
- ・ファミサポのサポーター会員側としては、やりがいも感じ、高い賃金も貰えるが、預ける側となると、利用料が高い。隣の中富良野町では町から補助されている。

内 容

(3) 放課後児童健全育成事業

- ・ 都会では放課後クラブへの苦情が多い。
- ・ 1、2年生がメイン。狭い空間に大人数がいる。学年が上がるにつれ、子どもはだんだん行きたがらなくなる。

(4) 子育て短期支援事業

- ・ 知らない施設に預けるといことが利用のハードルが高い。
- ・ 必要な事業だが、どのような支援がされているか周知があまりされていない。どのような事業なのか周知することが大事。

(8) 一時預かり事業

- ・ 一時預かり、未就園児の利用が増えている。
- ・ こども園とファミサポで一時預かりの金額に差がある。

(9) 病児保育事業

- ・ 実働よりも相談数が増えてきている。

資料1 P19～22 「3 次世代育成支援対策推進法に基づく事業」

(1) 児童虐待

- ・ 実際に相談はあるのか。町としてどのような対応を行うか重要である。

(4) 小児医療に係る支援

- ・ 上富良野町は雪のない地域からの転入者も多い。冬に小児科のある富良野市内の病院まで運転できず、町内の病院を受診したが3歳以下は難しいとのことで断られたことがある。
- ・ 冬に富良野市へ受診する際の移動手段に不安が大きい。
- ・ 小児科医を1人でも上富良野町に配置してほしい。

(5) 放課後の居場所づくり

- ・ 児童館に「役場のお兄さん」が来てキャッチボールなどで遊んでくれ、喜んでい
- る。
- ・ 放課後スクールをもう少し充実してほしい。
- ・ 指導員の高齢化で子どもへの対応が困難なのではないか。子どもたちが青年層(高校生、大学生)と触れ合う場が必要。

第5章 子どもの貧困対策について

資料1 P23～25 「3 具体的な施策」

(1) 相談支援体制の取り組み

- ・ 他市町村の様子がわからないとどう事業として取り組んでいくべきか、なかなか見えてこない。
- ・ 個々の相談は行っているが、貧困対策を事業として行っていくのは難しい。

内 容

(3) 教育支援の取り組み

- ・朝が早い、親が不在などの理由でファミサポが家に迎えに小学校まで送迎を行うこともある。
- ・学習の支援が必要。(保護者が就労で帰りが遅い、家で見る時間がない)

(4) 経済的支援の取り組み

- ・保育料が無償化になり、余計に貧困対策は埋もれてしまう。
- ・双子の家庭などは特に経済的負担が大きいので支援があるといい。

【委員長】

議題(2) その他について、今になって気づいたことや、意見、感想がありましたら述べていただきたい。

【委員】

- ・上富良野町はとても手厚く、色々な支援をやっていると思う。特に問題ないと思う。
- ・10月から保育料が無償化になり、預ける側としてはありがたいが、園児が増えてこども園の先生方の疲弊、疲労困憊にならないか、待遇は良くなるのか心配。
- ・父兄から伺う問題として、小児医療に係る支援というのがある。内地の方からいらっしゃる方達は、通院のために富良野まで行かないとならないことが大変という声が聞こえる。

ある町では、ネット回線を利用して問診するところがあるようなので、町立病院でも何か施策を考えていただきたい。大人ではただ、風邪と済まされることでも、子どもでは様々な感染症があるので、小児医療に対して手厚い支援ということを検討していただきたい。

- ・次回の会議で最後になるので、色々とかかなりの時間を割いている分、みんなで協力して良いものを作っていきたい。
- ・今回の計画を策定するにあたって、グループワーク中も感じていたが、やはり小児医療については町全体の大きな課題だと思う。町全体で議論をする必要があるのではないか。意見を聞いて、その上で計画を作る段階で先を見据えることが計画を立てる本当の意味だと思う。我々の意見が反映されることを願う。
- ・グループワークがとても良かった。全体の場合だと発言が難しいがグループワークをしていただいたおかげで、たくさん意見が出たと思う。
- ・乳幼児健診について、3歳児健診から就学時健診まで間が空いているのでその間に何か発達段階をチェックできるような方法を検討してもらえればありがたい。
- ・すくらむについて、兄弟分だと保管が大変。世帯に1つはどうか。
- ・上富良野の子どもたちは生まれてから就学までこんなに支えられていると支援事業計画を見て改めて感じた。
- ・転入の方々にこういう支援体制が充実していて、困ったらどこに行けばいいのか、周知されたり、気軽に足を運べる場があったり、相談できる方がいたら良いと思う。
- ・上富良野の医療ということで小児医療だけでなく、町立病院の体制や協会病院、富良野、旭川との繋がりの中で子どもが健やかに育つ医療を目指してほしい。

【委員長】

「第6章 計画を実行するための取り組み」について事務局より説明願います。

【事務局】

資料1 P26「第6章 計画を実行するための取り組み」について説明。

【委員長】

第6章の説明について質疑ありませんか。

【委員】

ありません。

3 その他

【委員長】

「3 その他」について事務局より説明願います。

【事務局】

次回子ども・子育て会議は、「第2期子ども・子育て支援事業計画の素案」の審議について、7月18日（木）13時30分から同じ会場で行いたいので、よろしくお願ひしたい。

・閉会

内 容